

金井紫雲 いそね 美術評論家。明治二十一年一月二日群馬縣生れ、昭和二十九年一月十九日歿（八八—九五）。本名泰二郎。明治二十五年上京して獨學、坪内逍遙等の鉛筆を得、四十一年中央新聞社に入社。大正十五年都新聞社に轉じて美術記者、のち學藝部長となる。池坊龍生派教員、華道會學藝部主宰。

著書に、『白花俱樂部』（大正六年十一月）二十五日自學獎勵會「家庭自學文庫」）、『鳥』（内田清之助共著、昭和四年一月十五日三省堂）、金井具十遺稿『答』（昭和十年二月）二十日金井紫雲編輯）、『大衆と藝術』（昭和十二年一月十五日京都・芸艸堂）、『東洋花鳥圖攷』（昭和十八年十月二十日京都・大雅堂）、中島春郊編『築山庭造法』（校訂、昭和二十二年四月十五日芸艸堂出版部）、『十畝先生』（讀畫會編、昭和二十二年六月十日讀畫會、京都・芸艸堂出版部）、『插花の巻』（昭和二十五年九月二十日京都・推古書院）等。

